

令和4年度第1回地域医療構想調整会議結果概要について

		横浜	川崎	相模原	三浦半島	湘南東部	湘南西部	県央	県西
		8月9日	8月8日	8月2日	9月8日	8月31日	9月5日	8月30日	9月12日
1	令和4年度保健医療計画推進会議及び地域医療構想調整会議等の運営について	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○循環器病対策推進計画について、協会けんぽの令和元年度の加入者1人当たりの医療費データをみると、循環器疾患の1人当たりの医療費は全国平均を上回っている。また、全国的にはがんの医療費が高くなっているが、神奈川県の場合、循環器系疾患の医療費が他の疾病の医療費を押さえて最も高い状態にある。県民のQOLを高め、医療費適正化を進めるためにも、より実効性が高いものとなるようお願いしたい。（横浜） ○医師の働き方改革について、川崎、神奈川の現状がどうであって、どのくらい需給バランスが崩れるのか、今年度からかなり力を入れて調べる必要があるのではないか。病院だけでなく休日急患診療所といった救急医療の関連施設もよく調べるべき。また、大学所属の医師について、所属元の大学自体が全てを把握していないケースが多いので、ボトムアップでの調査も必要ではないか。（川崎） ○6事業の中でも小児、新興感染症は、医師の働き方改革の影響が大きい。8次計画の前にしっかり検討する必要がある。（川崎） ○8次計画策定の議論の際には、医療費等のデータもあるとよいのではないか。（県央） 							
2	令和4年度病床整備事前協議について	実施する		実施する	実施しない		実施しない	実施しない	
		<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大変厳しい労働力問題も厳然としてあることを踏まえると、今後進められる事前協議のプロセスにおいて、それぞれの段階での検討を十分慎重に行ってほしい。（横浜） ○医師の働き方改革に加え、看護職員の人材確保がままならない状況で病床を増やすことは地域医療に影響があるのではないかと。神奈川県は神奈川県の基準病床数の算出方法みたいなものを認めてもらった方がいいのではないかと。（川崎） ○高度急性期から回復期、慢性期に至るまではグラデーションで、急性期と括られている中でも回復期の患者がいる。それぞれの機能の中のどのくらいの部分がその機能を果たしているのか、回復期機能の病棟として使われている部分もかなりあるので、そういった議論も必要ではないかと。（相模原） ○回復期の病院を一つ作るよりは、高齢化を迎えて、また、感染症に強い病床に変えたいということで、いくつかの病院は時代に合った病棟運営に変えていきたいという思いがかなりあるように感じるのと、そういった病院が充実するための病床として使えるといいのではないかと。（相模原） ○新型コロナウイルス感染症の影響により、病床の稼働率が大変不安定で状況判断が困難である。（三浦半島） ○医療従事者の人材不足による非稼働病床が176床（令和3年度病床機能報告結果（速報値））ある。（三浦半島） ○第8次医療計画の事業に新興感染症が位置づけられることによる病床整備の判断をしかねる。（三浦半島） ○基準病床数の算定に当たっては、算定に使用したデータ等も示していただきながら、地域の意見をよく聴いて決めるようにしてほしい。（湘南東部） ○既存病床数が不足となった要因は、現に稼働している病床の減ではなく、医療提供体制に変動はない。（湘南西部） ○コロナで状況が不透明な状態が続いている。見送りでよいのではないかと。（県央） 							
3	地域医療介護総合確保基金（医療分）について	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基金の執行額を増やすとともに、更なる事業提案の取組強化をしてほしい。（相模原） ○地域の団体等が基金の活用をしていくために、事業提案をより強化していくべき。（三浦半島） ○基金を活用した各事業がどのような効果があったのか示してほしい。（三浦半島） 							
4	令和3年度病床機能報告結果（速報値）について	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○回復期病床について、診療報酬改定で基準が厳しくなっている。必要病床数での推計された病床数が本当に必要なのか。（湘南西部） 							
5	外来機能報告制度について	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○報告項目の中にはレセプトで把握できるものもあるので、そういったものを集計すればいいのではないかと。（横浜） ○制度の内容が複雑であることから、今後丁寧な説明をお願いしたい。（三浦半島） 							
6	地域医療構想をめぐる国の検討状況等について	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いずれも重要課題と認識しているので、地域医療構想調整会議でも議論していきたい。（湘南西部） ○在宅医療や医療・介護連携の議論があまりされていないので、会議の下にWG的なものを設置する必要もあるのではないかと。（県央） ○県西は人口減少地域。医師の働き方改革などもあり、今までできていることをどう維持するか、工夫が必要。地元を中心に、県がどのようなサポートができるか、早期に各2次医療圏と県で議論を進める必要があるのではないかと。（県西） 							

令和4年度第1回地域医療構想調整会議結果概要について

		横浜	川崎	相模原	三浦半島	湘南東部	湘南西部	県央	県西
		8月9日	8月8日	8月2日	9月8日	8月31日	9月5日	8月30日	9月12日
地域の個別議題等									
1	2025プランの更新について	【主な意見】 ○病床の取扱いに係る県の要綱でのルールについて、その妥当性については常に検討が必要ではないか。（湘南東部） ○移転等に伴い、どういった医療を提供するのかということについて、分かりやすく地域に説明することが必要ではないか。（湘南東部）							
2	【三浦半島】 事業化の推進について	【主な意見】 ○地域医療連携協定を促進するための事業化についての提案が、横須賀共済病院からあった。 ○横須賀共済病院がフロントランナーとして取りまとめていきたい。 ○今後アライアンスに参加して、ぜひ連携してやっていきたい。							
3	【湘南西部】 病床の取扱いについて	【主な意見】 ①東海大学大磯病院は中郡の中で唯一の救急受入及び多岐にわたる診療や入院を受け入れることのできる総合的な病院として、地域医療の中心的な役割を担っていること、②新型コロナウイルス感染症に早期から対応し、現在も神奈川モデル認定医療機関として、コロナ陽性患者の受入を行っていること、③病院が廃止になった場合、地域医療への影響が大きいことから、医療提供の空白期間を生じさせない必要があること、の3点の事項を踏まえ、原則どおり、病床を返上した場合の地域医療への影響が大きいことから、病院等の開設等に関する指導要綱第7条に定める適用除外の案件としていただきたい。							
4	【県央】 県央地区における居住施設等の介護サービス（医療対応）等調査 【県西】 県西地域における医療・介護の連携体制の構築について	【主な意見】 ○回答があった施設等と意見交換できる場があるとよい。（県央）							